

カラー透水性舗装「ポーラス・ファイン」

発注者：豊田市役所

工事件名：四季の回廊川見地区駐車場等舗装工事

工期：平成28年5月20日～平成28年9月30日

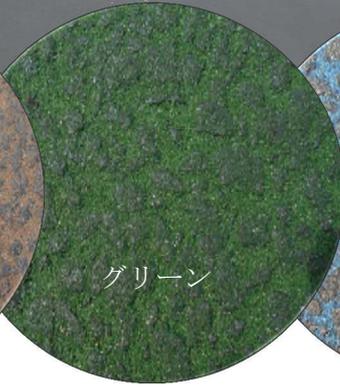
(完成写真)



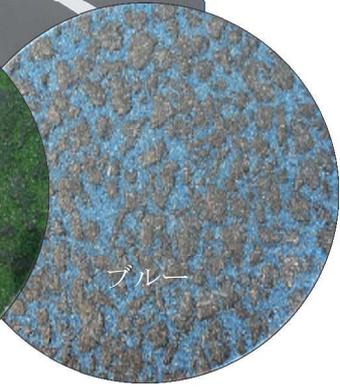
ライトグレー



ミルクブラウン



グリーン



ブルー

No. 28721

試験結果報告書

工事名：四季の回廊川見地区 駐車場等舗装工事

工事場所：豊田市上仁木町 地内

路線名：

工種：舗装工

依頼者：ヤハギ道路 株式会社

愛知県知事 許可(般-27) 第65580号
試験者：株式会社 **中部技術センター**
愛知県春日井市白山町3丁目16-13
TEL 0568-51-9151 FAX 0568-51-8820

試験項目：現場透水量試験 舗装調査・試験法便覧

本報告書は、排水性舗装及び透水性舗装の浸透水量を測定し、その試験結果をとりまとめたものである。

1. 測定方法

- 1) 現場透水試験器底板と路面の隙間から漏水を防止するために、透水面積を確保しつつ、水漏れ防止材を底板下部、または外周に密着させる。
- 2) 現場透水試験器の設置に先立ち、水頭600mmになる測定開始位置 X_1 と、そこから400mlを流下させた測定終了位置 X_2 を確認しておく。
- 3) コックを閉じて、水をシリンダー上端付近まで注入する。
コックを一気に全開し、シリンダー内の水位が X_1 から X_2 まで低下する経過時間(秒)をストップウォッチで0.1秒単位まで測定し記録する。
計測は4回行い、各測定は1分間程度間隔をあけて実施する。

2. 測定方法

(1) 流下平均時間の算出

水400mlの流下に要した流下平均時間を、2回目から4回目に測定した3データの算術平均で0.1秒単位まで算出する。

$$t = (t_2 + t_3 + t_4) / 3$$

ここに、 t : 流下平均時間(秒)
 t_1, t_2, t_3 : 2回目～4回目の測定流下時間(秒)

(2) 透水量の算出

透水量は、下記式より算出する。

$$V_{wi} = (400 / t) \times 15 \text{秒}$$

ここに、 V_{wi} : 各測点iにおける透水量(ml/15秒)
 t : 流下平均時間(秒)

3. 試験結果

表-1 透水試験結果

測 点	透水量(ml/15秒)
No.1+15 通路	1277
No.3+5 通路	1174
No.1+15 駐車場	1235
No.3+5 駐車場	1258

4. 基準値

車道及び側帯の舗装について、雨水を道路の路面下に円滑に浸透させることができる構造とする場合、施行直後の浸透水量の基準値は以下に示す値以上とする。

表-2 浸透水量の基準値

区 分	浸透水量 (ml/15秒)
第1種、第2種、第3種第1級及び第2級 並びに第4種第1級	1,000
その他	300

引用書籍 (社)日本道路協会「舗装性能評価法」



車道および歩道の浸透水量の基準値を
満足している。

